

新庁舎建設基本設計(案)住民説明会

平成26年7月20日(日)～21日(月)

開催地:	農民研修センター 2階研修室	20日(日)10:00～11:00	参加者 5名
	西の里会館 1階集会室	20日(日)14:00～15:00	参加者 6名
	団地住民センター	20日(日)18:00～19:20	参加者 15名
	夢プラザ 2階サークル活動室	21日(月)10:00～11:20	参加者 10名
	中央会館 1階集会室	21日(月)14:00～15.:00	参加者 25+2名(記者)
			参加者合計 61名+2名(記者)

主催者: 総務部 水口部長、庁舎建設推進課 及川課長、伊達主査、嘉屋主査
久米・ブंक共同企業体 池田部長、前田上席主査

説明後の意見交換の場において、出席者より出された主な意見や質問、主催者側からの回答は以下のとおりです。

◎駐車場について

駐車場の広さは十分か。出入口が1ヶ所しかないが支障はないのか、夜間の利用はできるのか。

- ⇒ 駐車台数は冬期間に200台を確保する計画とします。内訳は、50台分を公用車用として使用しますので市民用は150台です。現状は公用車分50台と市民用100台です。
1階利用者は高齢者、子連れでの駐車が多いと思われるので駐車幅等に配慮した計画とします。
2方向の出入口が理想ではありますが、斜面地の処理を考えると1箇所ですが非常用通路は確保します。夜間等の使用管理は今後の検討になります。

◎ロードヒーティングについて

スロープ部分のロードヒーティングの制御は柔軟に対応できるようにすること。

- ⇒ 熱源については比較検討の結果、電気の使用を考えています。
制御方法については今後検討してまいります。

◎JR千歳線からの距離について

JRからの騒音に対して距離をとった配置計画としないのはなぜか。

- ⇒ 現庁舎を使用しながら仮設庁舎に建設費をかけない建設計画としたところから、現在の位置に決定しました。

◎隣接民有地について

隣接地を取得する計画はないのか。

- ⇒ 用地の取得も含め、現在、市役所内部において検討しております。

◎交通アクセスについて

市内各所から市役所までの交通機関としてバスの増便をしてほしい。

⇒ 要望としてお聞きし、担当部署に伝達いたします。

◎建設コストについて

経済性を重視して建設費を示してほしい。

⇒ 基本計画では総事業費の上限を50億円としているところですが、建設コストについては、最近特に高騰していることから、実施設計の中で精査の上、実勢を考慮した金額を提示したいと考えております。

◎庁舎内部について

エスカレーターは設置しないのか。

⇒ エスカレーターのみでは車いす、ベビーカー等に対応できないことから、また、保守点検費等の維持費も考慮のうえ、エスカレーターは設置しない計画としました。

◎道産材の使用について

道産材は何を使うのか。

⇒ 今後、実施設計の中で具体的に検討してまいります。

◎内部空間の余裕の必要性について

将来の職員数、事務機器、書庫スペースなど余裕を持った計画を希望する。

⇒ 保健福祉部については今後拡大していくことも想定されますが、市役所全体としては職員数の増加は予定しておりません。

⇒ 保存書庫等は既存の第3庁舎増築部に設ける計画としています。

◎議場について

議場は多目的で使用できるのか。

⇒ 議場を多目的に使用する場合、机や椅子などの収納場所、床面のフラット化などの問題が生じることから、専用仕様とし、コンパクトでシンプルな議場を計画します。

◎カフェ・売店について

5階のカフェ・売店は民間経営で行うのか

⇒ 民間事業者に貸し出す計画としており、市民利用がメインとなる売店・軽食販売を想定しております。

◎災害・耐震について

庁舎の災害・耐震対策はどうなっているのか、屋上にヘリポートはないのか

⇒ 災害発生時の災害復旧拠点として庁舎機能を維持できる計画となっています。

また、耐震構造による1.5倍の安全率は、震度7程度でも構造体はほとんど損傷なく継続使用できる仕様となっています。加えて、非常用発電設備なども整備する計画としています。

⇒ 屋上にヘリポートを設置する計画は持っていません。

◎太陽光発電について

太陽光発電はどのくらいの利用を考えているか。

⇒ 容量は30kwを予定しており、パソコン約75台分の容量を発電する計画としています。

◎ガラス面について

ガラス面の多用による維持管理費、室内環境への負荷が心配されます。

⇒ ガラスについては高性能ガラスを使用する計画としており、温熱環境を重視した計画としております。
また、西日・JRからの騒音対策などから西面については、ガラス部分を抑制した計画としております。

◎吹抜けについて

吹抜けによる上下の温度差が懸念されます。

⇒ 奥行きのある建物であり、明るい市民ロビーや執務空間を目指し、建物中央部に吹抜けを設置したところ
です。
⇒ 各階の温度をコントロール(制御)し、温度差を極力作らないことにより、暖気の上層部での滞留や下層部の冷え込みを抑制する計画とします。

◎玄関出入口について

冬季間の玄関からの寒風の侵入対策に配慮してほしい。

⇒ 風除室の歩行距離を確保するなどの対策を講じます。

◎空調設備について

エアコンの設置はあるのか

⇒ 各所で最適な空調を採用する計画とします。

◎JRからの騒音・鉄粉対策について

JRからの騒音・鉄粉対策はどうか

⇒ 西面の窓を小さく、また、少なくし、外壁にはさびにくい素材を選定します。

◎屋上からの落雪対策について

屋上からの落雪対策は講じられているのか。

⇒ 雪庇対策を講じます。加えて、屋上からの落雪を考慮した庇の設置などを検討します。

◎屋上庭園について

5階の屋上園庭を市民に開放してほしい。

⇒ 安全面等も考慮のうえ、今後、検討してまいります。